

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

URA・社会連携センター
地域連携コーディネータ 内藤 富美晴

新技術情報クラブの皆さま、こんにちは。地域連携コーディネータの内藤富美晴です。酷暑の8月が終わり9月に入りましたが、季節が一気に進み、もうすっかり秋めいてまいりました。

現在の業務に着いてから早1年が経過しましたが、この間ずっと新型コロナウイルス感染の影響により、様々なイベントの縮小や延期、あるいはリモートによる実施を余儀なくされてきました。

まだまだ収束は見えませんが、梨大生のほとんどがすでに2回目のワクチンの接種を完了したことから、新学期からは、キャンパス内の雰囲気も少し変わるかもしれません。

さて近年、新型コロナウイルスや台風などの疫病・災害、AIの急速な進化などが次々と起こり、社会が将来どう変化していくかは、全く予測するのができなくなったと言われております。

こうした現象をビジネス用語でVUCA(ブーカ)というのだそうです。VUCAは、現代の経済環境の特徴ともいえる、V (Volatility: 変動性) U (Uncertainty: 不確実性) C (Complexity: 複雑性) A

(Ambiguity: 曖昧性)の4つの単語の頭文字を取った造語で、取り巻く社会環境の複雑性が増し、次々と想定外の出来事が起こり、将来予測が困難な状況を意味します。

現代は、テクノロジーの進化によって、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な状況にあることから、「VUCAの時代」と呼ぶのだそうです。

そのことが広く認識されるきっかけとなったのは、2016年に開催された「世界経済フォーラム(ダボス会議)」で、その後世界的な共通認識となりました。

グローバルの流れとして、かつてのトランプ大統領の出現や現在の米中対立の行方、それに様々な国の政治の先行きは、不透明感を増す一方です。

最近では、地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震といった災害などに、新型コロナウイルスの流行が加わって、100年に一度といった予測困難な事象が次々に起こっています。

また、人生100年時代が到来し、日本や先進国では、少子高齢化が深刻な問題として取り上げられています。

いずれの事象も今後、世界や日本社会、個人にどう影響を及ぼしていくか、すべてを見通すことが難しくなっているのです。

VUCAの時代が到来した要因のひとつとして、IT技術の発展が挙げられます。これは、ITの進化が全く新しい事業価値を生み、既存の価値観やビジネスモデルなどが通用しなくなり、既存のビジネスモデルを破壊する可能性があるからだと言われております。

では、こうした予測不能な時代に求められるものは、これまでの常識

や経験に捉われない大胆かつ柔軟な発想や創造性ということでしょうか。

8月23日から9月17日まで、JST（科学技術振興機構）が「イノベーションジャパン2021～大学見本市～」を昨年に続き今年もオンラインで開催しております。（<https://innovationjapan-univ.jst.go.jp/>）

山梨大からは4名の研究者がエントリーしております。今年も様々な分野で「With コロナ」時代に資する技術シーズも数多く出展されているようですので、是非ご覧いただければと思います。VUCAの時代に対応可能な技術シーズやヒントが見つかるかもしれません。

インフォメーション 目次

01：	プレスリリース	（ 2 件）
02：	トピックス	（ 1 件）
03：	セミナー情報	（ 1 件）
04：	助成および公募情報	（ 3 件）
05：	事務局からのお知らせ	



■01	プレスリリース	（ 2 件）
-----	---------	--------

◆母親のヨードばく露と子どもの甲状腺機能低下症

本学エコチル調査甲信ユニットセンターの研究チームは、環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」による約10万人のデータを用い、母親のヨードばく露と子どもの甲状腺機能低下症について解析しました。

その結果、出産時に母親に行われることのあるポピンドヨード消毒は、生まれてくる子どもの一過性甲状腺機能低下症と関連があるものの、1歳までの先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)との関連はみられません。また、不妊時の検査と治療を兼ねて行われる子宮卵管造影検査は、その後生まれる子どもの一過性甲状腺機能低下症及び1歳までの先天性甲状腺機能低下症のリスク増加と関連がないことが明らかになりました。

これによって、妊娠前に子宮卵管造影検査を行うことで、その後生まれる子どもがこれらの疾患にかかる心配はしなくてよいと考えられ、これまでの検査実施に対する医療上の懸念を減らす結果となりました。

なお、子宮卵管造影検査のヨード剤が脂溶性か水溶性かについては調査できていません。現在子宮卵管造影検査に広く用いられている水溶性ヨード剤の使用と生まれる子どもの甲状腺機能低下症のリスクとの関連については、今後調査し解析することが必要です。

本研究の成果は、令和3年8月26日付けで、日本内分泌学会刊行の公式英文誌「Endocrine Journal」に掲載されました。

◆富士山北麓の幻の湖「赤池」、主に降雨により形成 ～精進湖の水と成分一致せず、定説を覆す～

本学 中村高志准教授(国際流域環境研究センター)、県富士山科学研究所 山本真也研究員、立正大学 安原正也教授と李盛源准教授の研究グループは、2020年7月に富士山麓で9年ぶりに出現した幻の湖「赤池」の水の採取に成功し、その水質の仕組みや水の安定同位体比の分析を行いました。データ解析の結果、赤池の発生の仕組みについて、精進湖と地下水を通じて繋がっているとする従来の説を覆し、主に直近に生じた降雨により形成されていたことを発見しました。研究成果をまとめた研究論文は地学雑誌(公財東京地学協会)に受理されました(2022年2月末掲載予定)。

詳しくは下記 URL をご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2021/09/20210906pr.pdf>

□■

■02 トピックス (1 件)

◆患者情報を一元化するシステム「SHINGEN (Smart Health INformation Gathering & Evaluation Network)」を開発

本学医学部附属病院は、宿泊療養から退所後のケアまでシームレスに医療スタッフが患者情報を共有する事が可能となるシステム『SHINGEN(Smart Health INformation Gathering & Evaluation Network)』を開発しました。

これは、患者自身がスマートフォンから症状などを入力し、医療従事者が一元管理するものです。同システムの導入により、患者の症状管理の効率化や健康観察の質の向上が図れ、医療体制の強化に繋がります。

本学附属病院では、24 時間体制で医師や看護師を常駐させ新型コロナウイルス感染症患者のケアを行う「医療強化型宿泊療養施設」(東横 INN 富士河口湖大橋、ホテルルートイン山梨中央)において『SHINGEN』をすでに導入しており、常駐する医師や看護師の他、本学附属病院の医師も PC やスマートフォンで情報を一括管理・共有しています。また退所後も、システムによる継続的な健康状態の管理を行うとしており、容体の変化に即時に対応できる体制を整えています。

詳しくは下記 URL をご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/33097>

□■

■03 セミナー情報 (1 件)

◆【甲府商工会議所】データ解析セミナー I ・ II

山梨県品質管理研究会では、社内での統計的品質管理のレベルアップを狙いとしたセミナーを企画しました。

本セミナーではエクセルを使用した演習問題を取り入れ、内容別で2回に分け開催します。

ぜひご受講いただき、自社における品質管理活動にお役立てください。

【セミナー I】

日 時：令和 3 年 10 月 2 日(土) 10:00~15:30

会 場：現地〉甲府商工会議所 5F ホール
オンライン〉Zoom

内 容：・データ解析入門・基本統計量・工程のバラツキの管理
・散布図の書き方と見方、回帰分析の基礎

【セミナー II】

日 時：令和 3 年 11 月 6 日(土) 9:00~17:30

会 場：現地〉甲府商工会議所 5F ホール
オンライン〉Zoom

内 容：・分散の話・要因の影響を調べる(分散分析)
・平均値や分散の推定と検定・全体まとめ

詳しくは下 URL をご覧ください。

【セミナー I】<https://kofuucci.or.jp/seminar/20211002/>



■04 助成事業および公募情報 (3 件)

◆【やまなし産業支援機構】山梨みらいファンド助成事業の募集開始

(公財)やまなし産業支援機構では、起業の促進と新事業創出を図るためファンドを設置し、その運用益により県内中小企業等が行う新たな事業の創出に対して必要な資金を支援するための助成事業を行います。

募集期間：令和3年9月1日(水)～10月29日(金) 17時

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/subsidy/fund.html>

◆【経済産業省】中小法人・個人事業者のための「月次支援金」

緊急事態宣言・まん延防止等充填措置に伴う飲食店の休業・時短営業又は外出自粛の影響を受けて売上げが50%以上減少した中小法人・個人事業者等の事業継続及び立て直しを支援します。

要件：対象月の緊急事態措置又はまん延防止等重点措置に伴う飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響を受けていること。

2021年の月間売上が、2019年又は2020年の同月比で50%以上減少。

給付額：2019年又は2020年の基準月の売上-2021年の対象月の売上

中小法人等（上限20万円/月）

個人事業者等（上限10万円/月）

申請受付期間：7月分：2021年8月1日～9月30日

8月分：2021年9月1日～10月31日

9月分：2021年10月1日～11月30日

詳しくは下記 URL をご覧ください。

https://www.meti.go.jp/covid-19/getsuji_shien/index.html

◆【山梨県商会連合会】農商工連携マッチングフェア 出展者募集

本年度も、販路開拓支援事業の一環として、県内の中小企業や農林水産業者が開発した商品の販路開拓や新たな取り組みを支援することを目的に「農商工連携マッチングフェア」を開催します。ただいま出展者を募集しています。

イベント日時：令和4年1月18日(火) 12:00～16:00

会場：アピオ甲府 タワー館4階 光華の間

出展者申込締切：令和3年10月1日(金)

詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/info/noshokorenkei.html>



■05 事務局からお知らせ

～会員会社様へ課題伺いの訪問をいたします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員企業様の持っておられる技術課題等をお伺いします。
インターネットを活用したご相談もお受けしますので、事務局まで
お気軽にご連絡ください。



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

